

## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社  
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長 (氏名) 宇佐美 昌和

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	164,279	16.3	19,614	9.3	19,972	8.7	10,873	8.2
2022年3月期第2四半期	141,213	10.5	21,616	273.8	21,884	268.4	10,050	263.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 30,213百万円 (43.5%) 2022年3月期第2四半期 21,056百万円 (765.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	55.00	
2022年3月期第2四半期	50.84	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	366,273	244,317	53.3
2022年3月期	362,438	224,555	49.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 195,359百万円 2022年3月期 180,420百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				37.00	37.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2023年3月期における1株当たりの配当予想については、2022年8月4日に公表した前回予想の31円から34円に修正しております。  
 詳細については本日(2022年11月10日)公表いたしました「2023年3月期の連結業績予想ならびに配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	347,000	15.3	35,400	18.3	36,000	16.7	18,900	9.0	95.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	199,699,743 株	2022年3月期	199,699,743 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,995,602 株	2022年3月期	1,995,577 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	197,704,145 株	2022年3月期2Q	197,704,258 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(第2四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は2022年11月15日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会終了後遅滞なく当社ホームページに掲載する予定です

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	11

## ○ 第2四半期決算短信補足資料

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高164,279百万円(前年同期比16.3%増)、売上総利益57,879百万円(同6.5%増)、販売費及び一般管理費38,264百万円(同16.9%増)、営業利益19,614百万円(同9.3%減)、経常利益19,972百万円(同8.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益10,873百万円(同8.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [宝酒造]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて、価格改定前の9月の前倒し需要の影響などもあり、清酒は若干減少したものの、焼酎、ソフトアルコール飲料、本みりん、原料用アルコール等などは増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、61,820百万円(前年同期比7.3%増)となりました。売上原価は、資源価格や原材料価格の上昇の影響などもあり、47,765百万円(同10.2%増)となり、売上総利益は、14,055百万円(同1.7%減)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などの減少により、11,996百万円(同0.2%減)となり、営業利益は、2,059百万円(同9.3%減)となりました。

#### [宝酒造インターナショナルグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて、英国、米国でウイスキーが引き続き増加し、清酒も増加いたしましたので、海外酒類事業の売上高は増加いたしました。海外日本食材卸事業も、海外の飲食店市場を中心に引き続き好調に推移いたしましたので、増加いたしました。

以上の結果、宝酒造インターナショナルグループの売上高は、63,730百万円(前年同期比36.4%増)となりました。売上原価は、海上輸送費の高止まりの影響などもあり、43,748百万円(同37.8%増)となり、売上総利益は、19,981百万円(同33.3%増)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や運送費などが増加し、14,322百万円(同34.1%増)となり、営業利益は、5,658百万円(同31.5%増)となりました。

#### [タカラバイオグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて、機器と受託が減少したものの、試薬と遺伝子医療が増加いたしました。特に、試薬は一般研究用試薬が増加するとともに、新型コロナウイルス検査関連試薬が第7波の影響を受け増加いたしました。

以上の結果、タカラバイオグループの売上高は、32,587百万円(前年同期比3.3%増)となりました。売上原価は、売上構成の変化等により原価率が上昇し10,562百万円(同31.1%増)となり、売上総利益は、22,025百万円(同6.3%減)となりました。販売費及び一般管理費は、人件費および研究開発費などが増加し、11,154百万円(同18.8%増)となり、営業利益は、10,870百万円(同22.9%減)となりました。

#### [その他]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、ワインの輸入販売が引き続き好調に推移したことにより、15,577百万円(前年同期比6.5%増)となりました。売上原価は、13,392百万円(同5.6%増)となり、売上総利益は、2,184百万円(同12.6%増)となりました。販売費及び一般管理費は、運送費などが増加し、941百万円(同3.4%増)となり、営業利益は、1,243百万円(同20.8%増)となりました。

## 品種別販売実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	対前年 増減率
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	19,315	19,998	3.5
清酒	4,718	4,697	△0.4
ソフトアルコール飲料	18,808	20,525	9.1
その他酒類	2,529	2,823	11.6
本みりん	4,258	4,710	10.6
その他調味料	4,079	4,321	5.9
原料用アルコール等	3,922	4,743	20.9
計	57,633	61,820	7.3
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	7,005	8,287	18.3
海外日本食材卸	40,410	56,421	39.6
その他	29	2,812	—
グループ内連結消去	△710	△3,791	—
計	46,734	63,730	36.4
タカラバイオグループ			
試薬	24,988	27,565	10.3
機器	712	694	△2.5
受託	4,732	3,183	△32.7
遺伝子医療	1,117	1,144	2.3
計	31,551	32,587	3.3
報告セグメント計	135,919	158,138	16.3
その他	14,624	15,577	6.5
セグメント計	150,544	173,715	15.4
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△9,331	△9,435	—
合計	141,213	164,279	16.3

(注) 1. 販売金額には酒税を含んでおります。

2. 2022年3月期までタカラバイオグループの「試薬」に含めていたGMPグレード(再生医療等製品製造用)の試薬類等の売上高を、第1四半期連結会計期間より「遺伝子医療」に含めております。本表の前第2四半期連結累計期間の実績は、当該変更を反映して組み替えております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は233,028百万円となり、前連結会計年度末に比べ705百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が6,127百万円、商品及び製品が6,767百万円、流動資産のその他が1,100百万円それぞれ増加し、現金及び預金が13,370百万円減少したことによるものであります。固定資産は133,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,129百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が4,024百万円、無形固定資産が1,005百万円それぞれ増加し、投資その他の資産が1,900百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、総資産は、366,273百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,835百万円増加いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は62,892百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,258百万円減少いたしました。これは主に1年内償還予定の社債が10,000百万円、未払法人税等が2,121百万円、流動負債のその他が3,172百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は59,063百万円となり、前連結会計年度末に比べ332百万円増加いたしました。

以上の結果、負債合計は、121,956百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,926百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は244,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ19,761百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益10,873百万円、剰余金の配当7,315百万円により利益剰余金が3,558百万円、為替換算調整勘定が12,628百万円、非支配株主持分が4,822百万円それぞれ増加し、その他有価証券評価差額金が1,113百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は53.3%（前連結会計年度末は49.8%）となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益20,815百万円、減価償却費4,336百万円、売上債権の増加3,541百万円、棚卸資産の増加2,429百万円、その他の流動負債の減少3,103百万円、法人税等の支払額9,123百万円などにより、7,231百万円の収入と、前年同期に比べ4,566百万円の収入減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出6,001百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出5,093百万円などにより、9,553百万円の支出と、前年同期に比べ2,512百万円の支出減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還による支出10,000百万円、配当金の支払額7,300百万円などにより、21,625百万円の支出と、前年同期に比べ16,004百万円の支出増加となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より19,738百万円減少し、55,991百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年8月4日に公表いたしました業績予想を修正しております。

通期の売上高につきましては、前回予想（2022年8月4日公表）に対して、宝酒造、宝酒造インターナショナルグループは、ほぼ予想通りとなる見通しです。また、タカラバイオグループでは、受託が下回るものの、試薬、機器、遺伝子医療が上回る見込みで、特に、試薬は一般研究用試薬、新型コロナウイルス検査関連試薬がともに上回ることから、予想を上回る見通しです。

利益面では、前回予想に対して、宝酒造が更なるコストアップにより営業利益で下回るものの、宝酒造インターナショナルグループでは、売上総利益率の改善により営業利益で上回る見通しです。また、タカラバイオグループでは売上高の増加により売上総利益が増加し、営業利益で予想を上回る見通しです。

これにより、グループ全体で売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を上回る見通しです。

業績予想の修正に関しては、本日（2022年11月10日）「2023年3月期の連結業績予想ならびに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」を公表しております。また、各事業セグメントの予想値の詳細につきましては、「決算短信補足資料」（PAGE 10/15～13/15）をご参照ください。

#### (通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A) (2022年8月4日公表)	百万円 322,000	百万円 31,700	百万円 32,300	百万円 17,300	円 銭 87.50
今回修正予想 (B)	347,000	35,400	36,000	18,900	95.60
増減額 (B-A)	25,000	3,700	3,700	1,600	—
増減率 (%)	7.8	11.7	11.5	9.2	—
ご参考：前期実績 (2022年3月期)	300,918	43,354	43,230	20,769	105.05

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	80,445	67,075
受取手形及び売掛金	70,260	76,388
商品及び製品	63,172	69,940
仕掛品	2,012	2,334
原材料及び貯蔵品	7,458	7,307
その他	9,422	10,523
貸倒引当金	△449	△540
流動資産合計	232,323	233,028
固定資産		
有形固定資産	79,747	83,771
無形固定資産		
のれん	10,070	11,046
その他	5,290	5,319
無形固定資産合計	15,360	16,366
投資その他の資産		
投資有価証券	29,228	27,460
その他	5,843	5,709
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	35,006	33,106
固定資産合計	130,114	133,244
資産合計	362,438	366,273
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,973	21,237
短期借入金	5,497	4,792
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払酒税	7,172	7,058
未払費用	5,579	5,317
未払法人税等	6,602	4,480
引当金	3,516	3,370
その他	19,809	16,636
流動負債合計	79,151	62,892
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	15,248	15,171
退職給付に係る負債	8,944	8,879
その他	14,537	15,012
固定負債合計	58,730	59,063
負債合計	137,882	121,956

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,499	1,918
利益剰余金	149,933	153,492
自己株式	△1,682	△1,682
株主資本合計	163,976	166,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,216	11,103
繰延ヘッジ損益	412	784
為替換算調整勘定	4,330	16,959
退職給付に係る調整累計額	△515	△441
その他の包括利益累計額合計	16,443	28,405
非支配株主持分	44,135	48,957
純資産合計	224,555	244,317
負債純資産合計	362,438	366,273



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	141,213	164,279
売上原価	86,872	106,400
売上総利益	54,340	57,879
販売費及び一般管理費	32,724	38,264
営業利益	21,616	19,614
営業外収益		
受取配当金	311	445
その他	357	452
営業外収益合計	669	898
営業外費用		
支払利息	160	149
持分法による投資損失	54	113
為替差損	7	113
その他	177	163
営業外費用合計	400	539
経常利益	21,884	19,972
特別利益		
固定資産売却益	80	252
受取保険金	100	652
国庫補助金	1,188	63
特別利益合計	1,368	967
特別損失		
固定資産除売却損	97	45
固定資産圧縮損	1,188	63
製品自主回収関連損失	1,567	—
その他	—	16
特別損失合計	2,853	125
税金等調整前四半期純利益	20,400	20,815
法人税、住民税及び事業税	6,396	5,405
法人税等調整額	△354	580
法人税等合計	6,041	5,985
四半期純利益	14,358	14,829
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,308	3,956
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,050	10,873

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	14,358	14,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	355	△1,113
繰延ヘッジ損益	10	372
為替換算調整勘定	6,249	16,041
退職給付に係る調整額	81	82
その他の包括利益合計	6,697	15,383
四半期包括利益	21,056	30,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,464	22,835
非支配株主に係る四半期包括利益	5,591	7,377

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	20,400	20,815
減価償却費	4,061	4,336
のれん償却額	432	472
引当金の増減額 (△は減少)	△1,169	△297
受取利息及び受取配当金	△381	△531
支払利息	160	149
固定資産除売却損益 (△は益)	17	△206
受取保険金	△100	△652
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,850	△3,541
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,472	△2,429
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,008	△1,131
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,316	1,371
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	343	△3,103
その他	△988	87
小計	17,144	15,338
利息及び配当金の受取額	411	541
利息の支払額	△162	△177
法人税等の支払額	△6,365	△9,123
保険金の受取額	100	652
補助金の受取額	671	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,798	7,231
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,757	△6,001
定期預金の払戻による収入	2,119	1,270
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,827	△5,093
有形及び無形固定資産の売却による収入	107	409
補助金の受取額	3,349	32
その他	△57	△171
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,066	△9,553
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△330	△526
長期借入金の返済による支出	△31	△311
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△4,144	△7,300
非支配株主への配当金の支払額	△753	△1,563
リース債務の返済による支出	△348	△369
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△1,551
その他	△12	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,620	△21,625
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,802	4,208
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,085	△19,738
現金及び現金同等物の期首残高	62,860	75,729
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,775	55,991

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	57,202	46,564	31,551	135,318	5,895	141,213	—	141,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	431	170	0	601	8,729	9,331	△9,331	—
計	57,633	46,734	31,551	135,919	14,624	150,544	△9,331	141,213
セグメント利益	2,270	4,304	14,105	20,680	1,029	21,709	△93	21,616

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、物流事業、ワイン輸入販売などであります。

2. セグメント利益の調整額△93百万円は、セグメント間取引消去2百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△96百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	61,337	63,608	32,584	157,530	6,749	164,279	—	164,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	483	121	2	608	8,827	9,435	△9,435	—
計	61,820	63,730	32,587	158,138	15,577	173,715	△9,435	164,279
セグメント利益	2,059	5,658	10,870	18,588	1,243	19,831	△216	19,614

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、物流事業、ワイン輸入販売などであります。

2. セグメント利益の調整額△216百万円は、セグメント間取引消去14百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△231百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	宝酒造	宝酒造インターナショナルグループ	タカラバイオグループ	計		
酒類	57,202	6,155	—	63,358	2,029	65,387
海外日本食材卸	—	40,408	—	40,408	—	40,408
バイオ	—	—	31,551	31,551	—	31,551
その他	—	—	—	—	3,562	3,562
顧客との契約から生じる収益	57,202	46,564	31,551	135,318	5,592	140,910
その他の収益	—	—	—	—	302	302
外部顧客への売上高	57,202	46,564	31,551	135,318	5,895	141,213

(注) 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「顧客との契約から生じる収益」にワインの輸入販売や貨物の配送サービスなどによる収益を区分しており、「その他の収益」に企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入を区分しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	宝酒造	宝酒造インターナショナルグループ	タカラバイオグループ	計		
酒類	61,337	7,188	—	68,525	2,800	71,325
海外日本食材卸	—	56,420	—	56,420	—	56,420
バイオ	—	—	32,584	32,584	—	32,584
その他	—	—	—	—	3,646	3,646
顧客との契約から生じる収益	61,337	63,608	32,584	157,530	6,446	163,977
その他の収益	—	—	—	—	302	302
外部顧客への売上高	61,337	63,608	32,584	157,530	6,749	164,279

(注) 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「顧客との契約から生じる収益」にワインの輸入販売や貨物の配送サービスなどによる収益を区分しており、「その他の収益」に企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入を区分しております。

## (重要な後発事象)

## (重要な契約の終了)

当社の連結子会社であるタカラバイオ株式会社(以下、「タカラバイオ」という。)は、2022年11月10日開催の取締役会において、大塚製薬株式会社との「NY-ESO-1 siTCR 共同開発及び販売に関する契約」(以下、「本契約」という。)を終了することを決議し、同社と合意の上、同日付で契約を終了いたしました。

## (1) 契約終了の理由

タカラバイオは、大塚製薬株式会社と共同で、NY-ESO-1 siTCR<sup>®</sup>遺伝子治療剤(以下、「本薬剤」)の滑膜肉腫を対象とした日本国内での開発を進め、製造販売承認申請に向けた準備を進めてきましたが、本薬剤にかかる方針

や戦略を両社で総合的に検討した結果、本契約を終了することで合意しました。なお、本判断は、本製剤の有効性・安全性の問題によるものではありません。

(2) 契約の相手方の名称

大塚製薬株式会社

(3) 契約終了の時期

2022年11月10日

(4) 契約の内容

- ・タカラバイオと大塚製薬株式会社は、本製剤の開発を国内において協力して実施する。
- ・タカラバイオは、同社に対し、すべての適応症を対象として本製剤の国内における独占販売権とアジア地域9か国の優先交渉権を付与し、契約一時金のほか開発進捗状況により一時金を受領するとともに、上市後は売上高に連動した一定のランニングロイヤリティおよび売上高の目標達成に応じた一時金を受領する。
- ・タカラバイオは臨床試験用および市販用の製剤を製造し、同社に有償供給する。

(5) 契約の終了が営業活動等へおよぼす重要な影響

本契約終了にともないタカラバイオが大塚製薬株式会社に許諾した本製剤に関する、技術・知財・その他の権利は、タカラバイオに返還されます。また、今後、本契約に基づくマイルストーン達成時の一時金および治験製品販売の売上は発生いたしません。